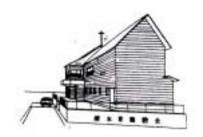
今朝の聖書から 调の初めの日(24:1)と書 きだされています。すなわち安息日の次の日の朝のことです。 イエス様のそばにいた女性達・あの十字架の出来事を見ていた 女性達がイエスの様の葬られたお墓に向かうことになります。 そしてイエス様の復活の出来事に直面して、本当に全ての罪か ら解放され、神の国が、イエス様に教えられたとおり、現実の ものになったことを体験することになります。その意味が始め はよく分かりませんでしたが、そこに二人のメッセンジャーが 現れます(4節)。"女たちは驚き恐れて、顔を地に伏せている と、このふたりの者が言った、「あなたがたは、なぜ生きた方 を死人の中にたずねているのか"と5節で、ことの本質を伝え ます。私たちはどこにイエス様とイエス様の約束を探すでしょ うか。華やかで、権威を得た者には魅力的ですが、この世の中 のむなしく希望のない所を選んでは、"ここにも恵みはない"、 "ここにも救いはない"と言っていることはないでしょうか。 希望のあるところを探しなさいと、そしてそこにイエス様の約 束を求めなさい、と彼らを通して聖書は今も語っています。女 性達は6節に於いて、何もない墓と、イエス様の語られた真理 の、まるで反対であることを諭されるのです。マタイも28: 6で"もうここにはおられない。かねて言われたとおりに、よ みがえられたのである。さあ、イエスが納められていた場所を ごらんなさい"と、このことを強調しています。ここにはおい でにならないことを見なさい、と墓に遺体を求めて執着するこ とが、まったく無意味であると言っているのです。私たちも、 いま前を向いて見たいと思います。目の前には、滅びがあるで しょうか、それとも救いがあるでしょうか。大嫌いな事柄が目 の前に広がるなら、まだ滅びの中で、何とか滅びを解決しよう と努力しているのです。希望と神様の国が見えるなら、その人 は滅びにとらわれることがなく、主の復活と、神様の栄光に入 れられているのです。ルカ24:8で、女性達は、イエス様の 語られたことが本当だったことを、思い出しながら理解するこ とになります。去年と同じようにやって来るイースター、私た ちはどれだけ成長したでしょうか、主にある訓練をしたでしょ うか。次の一年間、私たちは、それぞれその場にあって、救い の希望と確信に、一歩導かれるように過ごしたいものです。

週報

2007年 4月 8日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。 使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校 毎日曜日 午前 9:00 礼拝式 毎日曜日 午前10:30 (聖餐式 第一日曜日) 夕礼拝式 毎日曜日 午後 7:00 毎水曜日 エステルの会 午前 10:30 午後 7:00 毎水曜日 http://kusanagi.church.jp/

〒424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26 **©054-345-4070** E-Mail grace@big.jp 牧師 村上定幸